

第11回LaMer 特別講演会

福島の河川環境における 放射能汚染はいつまで続くのか？

原発事故によって放出された放射性物質による河川環境の汚染が長期化している。本研究では河川環境を経時的かつ測定点を特定できる指標生物として水生昆虫のヒゲナガカワトビゲラ幼生に着目し、「トビケラウオッチ」として河川環境の放射能モニタリングを進めている。放射能の経時的变化と農業用水への影響評価について報告する。

演者：

上野 大介 准教授
(佐賀大学農学部生物環境科学科)



日時
11/28 Mon 13:30-14:30

場所
理学部会議室 愛媛大学理学部構内
総合研究棟 1-6 階

LaMer事務局 TEL:089-927-8187 / mail:lamer@stu.ehime-u.ac.jp

愛媛大学共同利用共同研究拠点

Leading Academia in Marine and Environment Pollution Research(LaMer)

